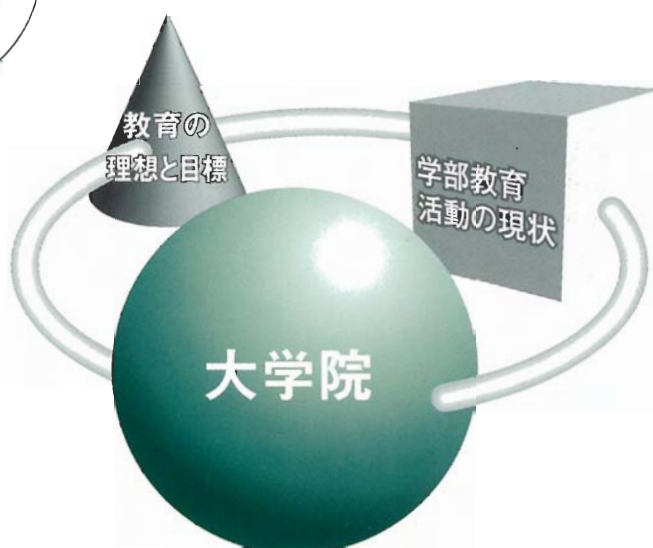


II

大学の動き

教育活動 (大学院)



医学系研究科博士課程

設置当初から学部講座主導型の研究指導体制から離れるため5専攻16部門を設けてきた。5専攻16部門の見直しとともに、初期の目標が達成できるように努力してゆく必要がある。

医学系研究科修士課程

平成10年度に設置されたばかりであるので、修了生が出た時点から点検・評価が行われる。

学生の受け入れ

博士課程は定員割れを起こしたことは一度もなく、また、本学卒業生だけで定員(30名)を満たしているのは、他の国立医科大学大学院にはない特徴である。

博士課程に入学した本学出身者の数は右のとおりである。

平成 6年度	33名
平成 7年度	39名
平成 8年度	30名
平成 9年度	31名
平成10年度	33名

大学院における教育

「医学総合研究特論」や「特別講習会」を行い、初期教育の充実に努めている。また、「模擬国際学会」

や「体験的医学英語入門講座」を開催し、学会や医学英語になじむ機会を与えている。

大学院の修了

下に示すとおり、入学者の40~60%が4年で学位を得ており、他の国立医科大学と比較して良好ではないかと考えられる。しかし、残りの40~60%の大学院生が在学中に学位に値する論文を書くことができていない事実は、改善の余地がないか検討する必要がある。

修了者の提出論文は、最近和文のものは減少し英文のものが増加しており、その平均インパクトファクター(IF)が3を超えるようになってきてはいるが、最上位の論文でも9.762どまりである。研究テーマや経済的な問題についての検討が必要であろう。

平成5年度入学者のうち 平成8年度に修了した者	58%
平成6年度入学者のうち 平成9年度に修了した者	52%
平成7年度入学者のうち 平成10年度に修了した者	41%

年度	英文(IFの平均)	和文
平成6	19 (2.438)	14
7	21 (1.703)	10
8	16 (1.748)	8
9	27 (2.467)	9
10	18 (3.024)	6